

# 滋賀短期大学附属 すみれ保育園

日時：2021年1月22日（金）9:30-17:00

場所：滋賀県守山市三宅町134番5

滋賀短期大学附属すみれ保育園は、立命館守山中学校・高等学校や守山市民ホールのすぐ近くにありま。今回は、徒歩5分の場所にある「守山市民運動公園」で研修をおこないました。雨が降っており肌寒い一日でしたが、「雨だからこそできる遊び」を体験することができました。雨の日に外で遊ぶイメージがあまり無いからこそ、多くの気づきや学びのある研修となりました。

講座、プログラムづくり、作成したプログラムの実践とふりかえりをおこないました。

講座の一部を紹介します。

講師 島川武治（しまっち）さん

## 木の温度を比べてみよう！

公園には、様々な種類の木が植えられています。晴れていると、日の当たり具合によって木の温度に違いがあると分かりますが、雨の日ではどうでしょうか？一本一本木に触れながら、温度の違いを確かめてみました。

湿っている木、乾いている木、ひんやりとした木、ほのかに温かい木、…種類や生えている場所によって木の温度が違ふことが分かりました。



木の温度を確認しながら、木の感触の違いも発見できます。ザラザラ、ツルツル…色々な木があります。

あの木よりも冷たい、この木は少し乾燥している、という声が聞こえます。温かい木の特徴についても、みんなで考えました。



## 雨を集めて楽しもう！

まず、雨のしずくを目で見たり顔で受けたり、雨の音を聞いたりして、雨を感じます。次に、園から持ってきた様々な容器を使って、雨を集めます。降ってくるしずくを集める時、容器によって「ボンッボンッ」という低い音がするもの、「ボンッボンッ」と高い音がするものがあることに気づきます。また、しずくを集める場所によって、色の違いがあることも発見！

最後は集めた雨水を、回る傘で飛ばします。地面に落ちた雨水は、植物たちが成長するための水になることを伝えます。



どんな音がする？  
みんなで聞いてみよう～！

こっこのほうが  
低い音がする！  
なんでだろう？



みんなが集めた雨水を傘で飛ばします！ザバァ～！！  
雨水は地面へ…。  
水の動きについて伝えます。

## しずくを集めよう！

絵本『あめ ぼぼぼ』の読み聞かせから始まります。絵本に出てくる男の子と同じように、みんなレインコートを着て長靴をはいています。雨の音を静かに聞いた後、雨のしずくを集めます。たくさん集められそうなところを探したり、木をゆすってみたりして、容器を雨のしずくで満たしていきます。

その容器を叩いたり、キャップをして振ってみたりすると、音が鳴ります。他にも音が鳴りそうなものを探し、みんなの集めた自然の音で『おもちゃのチャチャチャ』を演奏します。

最後に、集めた雨水を土に返します。そうすることによって、地面にしみこんで植物などが大きくなる、ということをお伝えします。



絵本『あめ ぼぼぼ』の読み聞かせ中…。みんな真剣に聞いています。

ふたのできる容器に木の枝や小石を入れてみました。振ると色々な音がする！



『おもちゃのチャチャチャ』をみんなで演奏！“チャチャチャ”のところで音を鳴らします。

### プログラムを終えてのふりかえり

- 雨だったので心配だったが、楽しかった！今後活かしていきたい。
- 雨にネガティブなイメージを持っていたが、今回の研修で変わった。雨の中で遊ぶ工夫をこれからしていきたい。
- 保育にすぐ使えるお話をしてくださり、とてもありがたかった。
- これまでもレインコートを持って来るよう伝えたことがあったが、活用できていなかった。これからどんどん実践していきたい。
- 水に触れる、雨の日にはできない気づきの経験をしてもらえるようにしたい。
- 自然のものは、下に落ちているドングリや葉っぱだけでなくたくさんあると気づけた。
- 今日体験して楽しかったことを、子どもたちに伝えていきたい。
- 乳児でもできることがあったので、工夫してやっていきたい。